

【61】  
秘川乙第八巻号

臨時通報

一御幸村南河原人民不穩ノ景況

本件ニ就テハ詳細補警部ヨリ上申ノ筈ニ候(所)ヘハ左ニ其不  
穩ノ原因及景況ノ概略ヲ述ブ

南河原人民ガ(不穩ノ)川崎停車場鉄道線路ニ対シ不穩ノ挙動ヲ  
ナシタル為メ巡查ヲ該線路ヘ配置シ警戒ナシタル事(実)件ハ拜  
顔ノ際ト秘川乙第八〇号ヲ以テ臨時通報セル通ニ有之而シテ今茲  
ニ述ヘントスルモノハ該人民ガ川崎停車場傍側ナル人家ノ下ニ  
アル悪水ノ溝渠浚方ニ関シ遂ニ不穩ノ挙動ヲナシタル件ヲ述ヘ  
ントスル儀ニ有之候依テ先ツ不穩ノ挙動ヲナスニ至リタル原因  
ハ左ノ如シ

停車場ノ傍側ニ人力車夫ノ正行事ニシテ(茶店)待合茶屋ヲ営  
業ナシ居ル小川松五郎(字名ダルマ)ト云フ者アリ此ノ者ガ去  
月卅日ノ夜鉄道線路ニ至リ南河原ノ人民ヘ対シ左ノ言ヲ吐タ  
リ

ヲ前方ガ此ノ如ク多人數ニテ當駅長ヘ對シ鐵道線路ノ下ヲ掘リ  
〔御幸村内〕南河原中ニ汎濫ナシアル水ヲ退ケル爲メ〔鉄〕線  
路ノ下ヲ掘ルコトヲ請求セラル、ハ其當ヲ得サルモノ也洪水ヲ  
心配スルコトナレハ洪水ノ來ル水原ヲ防クヘシ水原ハ御幸村小  
向等ノ堤防決潰ナシアルニ原因ス此ノ堤防ノ〔コレヲ修繕シ〕決  
潰ナシ居ル所ヲ修繕シタルコトナレハ南河原ハ浸水スルノ憂ハ  
ナカルヘシ此ノ如ク堤防修繕ヲ怠リ洪水ノ來ラントスル防禦  
ヲ為サスシテ〔洪水ノ水路〕水吐キニノミ奔走シ線路破壞ノ談判  
ヲ今駅長ニ對シ開キ居ラル、ハ其當ヲ得ス水ヲ心配スルコトナレ  
ハ早ク洪水ノ來ラントスル堤防ヲ修繕スヘシ云々ト此ノ言語ハ  
非常ナル不快ヲ南河原人民ヘ与ヘタルノ所巡查ノ出張説諭ニヨ  
リ何事モナク一先退タルモ頗ル怒心ヲ南河原人民ヘ起サシメ  
タリ故ニ機ノ命スヘキアラハ小川松五郎ニ怨ヲ報セントスル  
決心ヲ一仝ニ起サシメタルノ模様ニ有之然ルニ小川松五郎ノ床  
下ハ勿論該傍側ニ巾四尺長サニ町余ノ悪水ノ溝渠アリ〔但無稅  
地ナラン〕此ノ溝渠ハ川崎町裏手ノ川ト鐵道線路ノ下ヲ經テ南  
河原ヘ通シ居ルニ付此ノ溝渠ヲ浚ヒ〔ル〕取ルトキハ幾分カ南  
河原ノ水ハ該溝渠ヨリ流出スルヲ以テ減水ノ助ナルヨリ南河  
原ノ人民ハ該溝渠ヲ取調タルノ所何年ニモ浚タルコトナキヨリ  
流泥停滞シ不流通ナルヲ見段々人家ノ床下ヲ調査〔スルニ〕シ  
小川松五郎ノ床下ニ至リタルニ仝人ハ該溝渠ヲ利用シイケスト  
ナシ魚ヲ養生ナシアルヲ発見シ此ノイケスハ著シク不流通ノ原  
因ヲナスヨリ松五郎ノ不法ヲ喋々シ此ノ際該溝渠ヲ浚〔ヒ〕フ  
時ハ充分不法ナル証跡ヲ得松五郎ヲ詰査スルノ材料ヲ得怨ヲ報  
スルコトヲ得タルヨリ浚方ニ着手スルノ議ニ決シタルモ〔怨ヲ  
報セントノ議論南河原一決シタルモ〕如何セン該溝渠ハ川崎町  
ニ屬スルヲ以テ直ニ〔調査〕浚方等ニ着手スル能ハス茲ニ於テ  
川崎町役場ヘ昨一日早朝カラ〔迫リ〕惣代人四五名〔送り迫〕  
來リテ曰ク該溝渠ハ不流通ニ付南河原ヨリ人夫ヲ出シ浚方ニ着  
手スルモ差支ナキヤト掛合タルニ結局數回〔ノ〕談判ノ未全日

夕方ニ至リ川崎町ヨリ人夫ヲ出シ充分浚〔□〕方ヲナスヨシ答  
ヘタルニ然ラハ充分浚取ルト云フ証書ヲ差出シ貴度旨ヲ主張シ  
川崎町役場吏員ハ警察官吏立會ナ〔□□〕シ居ル面前ニ於テ確  
答シタル以上ハ異變ナキハ確實ナルヲ以テ証書差出ス理由ナシ  
云々ト互ニ押問答ニ時間ヲ消費ス〔元來川崎町ニ於テ溝渠ヲ浚  
取ルコトニ承諾シタル所以ノモノハ他ナシ若シ南河原人民ヲシ  
テ〔□〕ナサシムルトキハ必ス小川松五郎居宅等破壞事件ヲ生  
セシムルノ變事アル〔亦此ヲ氣込タル〕景況ニ付川崎町ニ於テ  
ナスコトニ協議セルナリ〕此ノ如ク押問答ヲナシ居ル中午後九  
時三十分頃ニ至リ南河原ノ人民百七名ニ助力トシテ七十三名  
〔此ノ七十三名ハ御幸村字戸手人民〕合計百八十名該溝渠浚ノ為  
メ川崎町ヘ押出シ來リ該停車場往來ノ傍側ヘ並列シ惣代人ト役  
場吏員ノ問答ノ様子ヲ窺ヒ居レリ

右ノ如ク彼此スル中川崎町ニ於テ充分浚取ルコトト此ヲ檢分ス  
ル為メ南河原ヨリ夫々重立タル者ガ〔來タル〕立會フ事ニ協議  
調ヘタルモ最早十時過キニ付浚方ハ明朝〔即チ本日〕着手スル  
ト云フ事ニテ立別タルヨリ百八十名ノ浚方ハ皆南河原ヘ引揚タ  
リ

右ハ原因ニシテ之レヨリ不穩ノ挙動ヲ左ニ

前述ノ如ク押出シ來リタル百八十名ノ浚方ハ皆ナ鍬或ハ鋤又ハマ  
ンガ等ヲ肩ニシ隊伍ヲ組ミ高張提燈等ヲ押立南河原惣代ノ云フ  
コトヲ聽入レサルニ於テハ暴行ヲ働ントスルノ景況ニシテ多勢  
ヲ以テ言情ヲ貫徹セントスルノ〔示威運動ニ付〕恰モ示威運動  
ノ如ク頗ル危険ナルニ付之ニ応スル巡查ヲ召集ナシタルモ一名  
ノ駐在巡查ハ真〔□〕性コレヲ病ニ罹リ警備巡查土佐熊造及署  
在地管区巡查服部正雄ノ兩名ハ洪水事件ニ付卅日ヨリ卅一日ニ懸  
ケ非常奔走ナシタルヨリ各自下痢ヲ四五回モ発シ到底出勤スル  
能ハス此ノ如ク三名ノ巡查ハ此ノ示威運動ノ如キ〔□〕輩万  
一ノ危険ニ供スルニ足ラス頗ル巡查ノ不足ヲ感シタルヨリ黒河  
内署長ト協議ノ上橘樹郡警察署ヨリ石原警部補ト巡查四名ヲ電

報ヲ以テ呼寄セ非常ノ警戒ヲ夫々ナシタルニ終ニ静謐ニ皆(□)退キタリ

亦溝渠渡(□)方本日ノ景況ハ左ノ如シ

川崎町ノ人夫ガ(五六名ト)夫々本日早朝ヨリ着手シ本日午後一時頃ニ至リ之ヲ了リタルノ所南河原ヨリ検分ノ為メ立会ニ来リタル十名程ノ惣代ハ之ニ満足シ帰村セルヨシニ先ツ本件ハ無事ニ落着致候

右報告候也

明治廿三年九月二日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【62】

秘川乙第八二号

臨時通報

一田島村大島堤防決潰事件落着

御下命ニヨリ郡長ヘ示談方周旋ノ勞ヲ談シ候所即時承諾シ遂ニ本日午前六時ニ至リ示談整ヒ(タルヲ以テ)告訴取消ヲ願出タルヲ以テ本件玆ニ落着候ニ付其示談ノ景況左ニ

郡長ハ大師河原人民ヘ示談ノ事ヲ説諭シタルニ異口全音ニ本県属土木課員池上幸操ノ指揮命令ヲ奉シ堤防ヲ決潰ナシタル旨ヲ陳述シ亦池上幸操ハ人命(財産)家屋ノ流失ヲ防禦スル為メ堤防ヲ決潰セシメタル旨ヲ陳述セリ然シ池上モ大師河原人民モ示談ニナルコトナレハ可成穩便ニ落着スル様郡長ヘ依頼セリ之ニ由テ郡長ハ田島村大島ノ人民ヘ対シ示談スルノ将来村(□)ト村ノ交際上利益アルノミナラス告訴スルモ(□)職權ヲ以テナシタル池上ノ指揮ヲ奉シタル者ハ罪ハ成立セス亦池上ハ職務上ナシタル指揮ニ付刑法ノ制裁ハ免レ唯ダ免官等ノ処分アルニ過キス云々旁々示談スルノ得策ナル旨説諭シタルニ本日ニ至リ示談調ヒタリト云フ

右ノ如ク私和ニナリタルヲ以テ頗ル賀スヘキノ事ニシテ大師河

原人民連名ヲ以テ謝狀一通ト酒代トシテ金拾円田島村大島人民ヘ交付スルノ二ヶ条ヲ以テ示談調ヒタルニ付(惣)告訴惣代人ヨリ別紙写ノ如キ告訴取消願ヲ呈出セシメタリ

右ハ示談整ヒタル景況ニ候所小生ノ愚考ヲ以テスレハ田島村大島人民ヘ郡長ガ説諭シタルノ言語正當ナラサルノ感覺ヲ起シタリ或ハ瞞着手段ナルカ抑モ行政官吏タル一土木官吏ガ他人ノ便益ヲ損スルヲ顧ミス堤防ヲ決潰スル權力アルカ之ヲ換言セハ刑法ヲ左右スルノ力アルカ若シ刑法ヲ左右スル力アリトセハ(官吏ガ)池上幸操ガ教唆者ノ位置ニ立タル(□)問罪スヘキノ限ニアラス然レトモ天皇陛下ノ発布セラレタル法律ハ一官吏ノ命令(ヲ下)ニヨリ左右セラレ、モノニアラ(ザル)ス行政官吏ノ(処分)權力ハ法律ノ範圍外ニ出ル能ハス或ル学者ノ定説ニヨレハ行政官吏ガナシタル行為ノ不法ナルヤ將タ適法ナルヤヲ識別スルニ四ヶノ法則アリ即チ左ノ如シ

第一 法律規則ノ範圍内ニ於テ運動スルコト

第二 便宜ヲ以テ標準トナスコト

第三 國家ノ利害得失ニ注意スルコト

第四 既発ノ事件ヲ処理スルヨリハ寧ロ將來ノ事体ヲ計画スル

コト

右四ヶ条中第二第三第四ハ關係薄ヲ以テ之ヲ措キ第一ナルヶ条ニ付池上ノ行為ハ適法ナルカ將タ否ラサルカヲ述ヘン刑法ニ於テハ何人ニモ堤防ヲ決潰スルノ權力ヲ与ヘアラサルハ一目瞭然ナリ刑法ニ於テ土木官吏ニ此ノ權力ナキコト判然ナルヲモ顧ミス刑法ノ範圍外ニ出テ堤防決潰シタル以上ハ(無論)犯罪ノ成立スルハ論ヲ俟タス然ルニ郡長ハ罪成立セスシテ(官吏)免官ノ処分云々ト大島人民ヘ(公言)諭シタルハ(遺)郡長ノ為メニ之ヲ惜マサルヲ得ス故ニ少シク刑法ヲ見タル者ハ池上カ教唆者タルノ責ヲ免レサルハ皆ナ知ル所ナラン然レトモ池上幸操ノ指揮ヲ奉シ決潰ニ從事シタル人民(□)ハ刑法ノ制裁ヲ免レサルヤ否ヤノ一段ニ至リテハ往々疑團ヲ抱ク者アラシカ小生ノ推考スル

所ヲ以テスレハ之亦刑罰ノ制裁ヲ免レサル者ト(云フコト)堅ク信シ少シモ疑ハサル也奈ントナレハ刑法第七十七条ニ法律規則ヲ知ラサルヲ以テ犯スノ意ナシト為スコトヲ得ストアリ故ニ無知ノ人民ハ池上ノ指揮ハ法律規則ノ上ニ於テ差支ナキ者ト信シタルナランガ右ハ事實ノ不知ニアラスシテ(其)法律(□)ノ不知タルモノ也指揮ヲ奉シタル者ハ皆ナ事實ヲ了知セリ即チ堤防ヲ決潰セントスル意思ヲ以テ之ヲ行為ニ顯ハシ実行ナシタル以上ハ犯罪ノ事實ヲ知レリ犯罪ノ事實ヲ知テ之ヲ行タル以上ハ正犯タルヲ免レス或者曰ク池上ハ土木官吏ノ資格(ヲ以テ)ニヨリ指揮シタルヲ以テ犯罪ヲナススト之レ誤解ノ甚シキモノ也抑モ土木官吏ト雖モ刑法ノ明文ヲ犯シテ堤防ヲ破壊スルノ權何レニアルカ法律規則ノ範圍内ニ於テナシタル指揮命令ニアラサル以上ハ無論犯罪ノ成立スルコト或ル學者ノ(書)定説ノ如シ既ニ池上ノ指揮ハ正当ノ指揮ニアラスシテ不法ノ指揮タル以上ハ之ノ不法指揮ヲ奉シタル決行者ハ亦(犯罪ヲ)刑罰ノ責ヲ免レサルハ見易キノ理ナリ故ニ池上モ亦此ノ指揮ヲ奉シタル者モ皆ナ犯罪者ナリ然ルニ郡長ハ之ニ反對シタル言ヲ以テ大島ノ人民ヘ諭シタルハ怪疑ニ任ヘサル所ナリ然リ而シテ

池上ハ他人ノ(生命)身体ヲ防衛スル為メナルコトヲ明言シタルヨシナレトモ之レ刑法ヲ知ラサル者ノ言ノミ刑法第七十五條ニ天災又ハ意外ノ變ニ因リ避ク可ラサル危難ニ遇ヒ自己若クハ親族ノ身体ヲ防衛スルニ出タル所為亦全シトアリ而シテ池上カ他人ノ身体ヲ防衛スル云々トアル他人トハ全人ノ親族ヲ指稱シタルコトナルカ否ヤ然ルニ池上ハ(□)親族ノ(□)避ク可ラサル危難ナルコト(ヲ)証明スル能ハサルハ勿論)及ヒ自己ハ勿論親族ガ此ノ危難ニ遭遇シタルコトヲ証明スルコト能ハス唯漠然ト他人ノ身体云々ニ口実ヲ構ヘ居ルハ実ニ痛歎ニ任ヘス幸ニシテ事穩便ニ落着シタルヲ以テ僅カニ刑罰ノ制裁ヲ免レタルノミ

一大師河原村々長ノ風評

池上幸操ハ全村池上新田ノ人民ナルヲ以テ今回ノ事件ニ力ヲ尽

シ之ニ由テ全村長ニナランカ為メナリト風評セリ  
右報告候也

明治廿三年九月四日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【63】

秘川乙第八三号

臨時通報

一大師河原村紛議ハ破裂シ起訴ニ着手ス

現村長石渡忠右衛門ハ代言人山田泰造ヲ以テ旧村長及助役タリシ内田佐五右衛門ト府川久次郎ノ二名ヲ被告トシ二三日内ニ横浜始審才判所ヘ(民事才判ヲ)起訴スルヨシ其起訴ノケ条ハ左ノ三項ナリ

一 共有地売却金ヲ旧村長及助役ヘ分与ノ件

是レハ明治十五年中ニ村長内田佐五右衛門ヘ二百五拾円助役府川久次郎ヘ五拾円分与シタルモ何人ガ此二名ヘ分与ナシタルカ不明ナリ旧書類ヲ調査シタルモ當時ノ村会ニ於テ分与ノ件ヲ決議シタルコト毫ナシ(□)之ニ由テ起訴セシト云フ

一 旧村長内田佐五右衛門ヨリ松本徳次郎ヘ金五拾円分与シタル件  
此レハ明治廿年一月頃トカ内田ヨリ松本ヘ五拾円投与シタルモ何等ノ理由ヲ以テ一村共有金ヲ分与シタルヤ其理由不明ナリ云々ト云フ

一 明治廿一年度ノ役場収支決算金千有餘円不足不明ノ件  
右三件ハ是迄ニ中山郡長ガ屢々該村ヘ出張説諭ヲナシタルモ示談調ハス遂ニ斯ク起訴スルニ至リタルモノナリト云フ  
右報告候也

明治廿三年九月八日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【64】  
秘川乙第八四号

臨時通報

一内田佐五右衛門及石川長蔵ヒ告事件

内田八旧大師河原村々長ニシテ石川長蔵八旧全村養蠶場並ニ海苔場世話人ナリ然ル所今般全村民和泉源右衛門外十二名ノ者ヨリ右兩名ヲ被告トシ右(八全人内田石川)兩名ガ明治廿年五月ヨリ(廿二年五月)養蠶場入費トシテ營業者毎戸ヨリ徴収シタル惣計金高四百卅三元五十銭ノ内二百八十四元卅八銭三厘ハ支弁ノ廉明白ナルモ百五十三元四角七厘ハ不明ニシテヒ告兩名カ押領ナシタル旨ヲ以テ別紙写ノ如ク取調方出願候所右ハ非現行犯ナルヲ以テ治罪法ノ規則ニ從ヒ横浜輕罪<sup>才</sup>判所ハ検事へ移牒セリ

蓋シ本件ハ今日突然生シタルモノニアラスシテ是迄中山郡長カ示談方(周施)ニ奔走セラレタルモ(示談)調ハスシテ斯ク出願スルニ至リタル儀ニ有之候  
右報告候也

明治廿三年九月九日

川崎分署長

警部長 高橋仲次殿

収入金押領ノ義ニ付御取調願

橘樹郡大師河原村大師河原三百五十五番地

被告人 内田佐五右衛門

同郡同村同所二千六百三十六番地

全 石川 長蔵

一金四百三拾三元五拾銭

養蠶株八百六十七株  
ヨ放入惣額

内 金貳百八拾円三拾八銭三厘

差引

金百五拾三元拾壹銭七厘残余ノ分

右本村養蠶之儀ハ各戸相当ノ株主トナリ牡蠶ヲ養ヒ繁殖ヲ謀ラン為ノ株主ヨリ銘々貧困ナルニモ不拘金五拾銭ツ、ヲ差出シ内田佐五右衛門外一人ニ於テ之カ収支ノ負担ヲナシ前記之通り収支支セシヲ以テ殘金ノ有無ヲ問フモ各自ヘ向テ収支決算ノ報告ヲ為セシコトナク強テ問フト雖トモ殘金無之趣ヲ以テ答ヘ敢テ之ヲ事トセス此儘差置ク時ハ細民ノ資財ヲ抛ツヨリモ甚シク殊ニ年々苦情差起リ候間特別ノ御詮議ヲ以テ前記殘金押領ノ点篤ト御取調被下度尤モ収支簿等御檢閲被下候得ハ一時借受奉呈可仕聊カ私共申口相違無之候間御取調ノ上本人共申募リ候ハ、其筋ヘ御廻シ相成候共毛頭不苦候ニ付キ厳重御取調被成下度此段連署ヲ以奉願候也

橘樹郡大師河原村大師河原

七千三百三十七番地

明治廿三年九月八日

養蠶株主 和泉源右衛門

七千九百九十八番地

川島富右衛門

八千六百六十三番地

和泉 丑五郎

三千三百五十一番地

武藤 磯五郎

九百八番地

<sup>才</sup>藤 周蔵

三千百六十二番地

須山 啓太郎

千九十八番地

倉形惣右衛門

千二百七番地

宮沢 金太郎

千五百二十七番地

高橋 録蔵

千五百八十番地

青山 久次郎  
千六百二十三番地

須山三左衛門

千百十八番地

石渡定右衛門

二千百三十五番地

中山 新太郎

橘樹郡警察署川崎分署長

警部 梶田定吉殿

追申 前書出願ニ係ル年度ハ明治廿三年五月ヨリ全廿二年五月ニ  
至ルモノニ御坐候也

惣代人 高橋 録蔵  
和泉源右衛門

【65】  
秘川乙第八六号

臨時通報

一橘樹郡役所書記綿貫久八郎困難ノ件

本月八日頃トカ郡書記綿貫久八郎ト川崎町々長根本助右衛門ノ両  
名全道ニテ田島村々長青木豊十郎方ヲ訪問シタルヨシニテ其訪問  
シタル件ハ青木豊十郎ヲ説客トシテ前郡長タリシ松尾豊材ト増田  
知ノ両家ヘ遣ハシ綿貫郡書記ガ官金四百円程消費シタルモ之ヲ  
弁償スル能ハス弁償スル能ハサルトキハ綿貫ハ犯罪人トナルハ無論  
ナルモ綿貫カ官金ヲ私借消費シタル事件ハ前兩名ノ郡長タリシトキ  
ヨリ現今ノ郡長ニ至ルマテ継続消費消シタル来リタルニモ不拘上  
官タル郡長ニシテ此ノ事実ヲ知ラサルハ職務上怠慢ノ責ハ免レス  
公然トナル以上ハ三郡長ハ官報上ニ於テ怠慢ノ恥ヲ膺サザルヲ得  
ス若シ綿貫ノ官金ヲ弁償スルトキハ三郡長モ之ノ憂ナク綿貫モ至極  
幸ヒナルモ如何セン本人ハ金策ノ途ニ窮シ居ルヲ以テ一己ノ力ニ  
ハ到底之ヲ弁償スル能ハス故ニ両郡長ヨリ五十円位ツ、綿貫ヘ  
惠与セラル、コトアラハ本人ノ幸ハ〔無〕勿論郡長モ恥辱ヲ官報

上ニ載セス穩便ニスムト云フモノニ付何卒貴下ヨリ松尾ト増田ノ  
両君ヘ説キ呉レ候様依頼シタルニ〔遂〕ニ青木豊十郎モ之ヲ承諾シ  
不日〔青木〕全人ハ〔両郡長〕松尾増田方ヘ説客トシテ至ルヨシ  
右等ノ景況ニ付綿貫郡書記ハ頗ル心配〔□〕シ百万金策ニ奔走ナ  
シ居ルヨシ風評セリ  
右報告候也

明治廿三年九月十日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長

【66】  
秘川乙第八八号

請求書

一金参円也

右ハ明治廿三年八月中高等警察ニ関スル機密実費支払高

右御渡相成度此段請求候也

明治廿三年九月八日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

支出明細書

一金参円也

内訳

一金壹円

右ハ明治廿三年八月中高等警察探偵事件ニ巡查石井亥吉及久下  
光廣ノ兩名ヲ使役シタルニ付其際消費シタル実費ニ付兩名ヘ五  
拾銭ツ、下渡ス

一金貳円

右ハ本官ニ於テ高等警察事件ニ付消費シタルモノ也

右之通支出相違無之候也

明治廿三年九月八日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【67】  
秘川乙第八九号

領收証

一金參円也

右ハ明治廿三年八月中等警察機密費

右正ニ領收候也

明治廿三年九月八日

川崎分署長

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

【68】  
秘川乙第九〇号

定期通報

一大師河原村ノ景況

全村内混雑ノ景況ハ既ニ報道ナシ置候所郡長周施ノ勞ハ水泡ニ歸シ刑事ト民事ノ訴訟ハ起リ愈々混雑ヲ劇ナラシメ村長ハアリト雖モ職權ヲ行フ能ハス村会ハ解散ノ姿ヲ呈シ徵收セントスル〔稅〕村費ハ集ラス乃チ本月十日午後三時頃土方職須山国五郎及石渡助五郎ノ兩名ハ堤防修繕工事ノ代金五拾円ヲ何故今日ニ至ルモ払渡サルルヤ我々貧民ハ南京米ノ粥ヲ食シ露命ヲ継キ居ルコトハ村長等ノ能ク知ル所ナルヲ顧ミス支払ノ如此遷延スルハ細民ヲシテ困難スルヲ心頭ニ懸ケサルモノ也故ニ村長等ニシテ斯ノ如キ不<sub>(三)</sub>信<sub>(三)</sub>切ナル以上ハ敢テ支払ヲ請求セス請求セサル代リニ村長ノ首ヲ申受ント申シ脅迫ケ間敷請求ヲナシタルモ役場書記或ハ收入役等ノ中裁ニヨリ〔〇〇〕遂ニ穩カニ談判ヲナシ收入役ヨリ廿五円村長ヨリ廿五円合計五十円即時該兩名ヘ渡シ事スミニナリタリト云フ尤モ村長收入役ニ於テ廿五円ツ、出シタル金ハ私金ニシテ村〔費〕内ヨリ徵收シタル金ニアラス該工事〔〇〕費ヲ五十円徵收ニ着手ナシ居ルモ容易ニ集金セス亦村会ヲ開カントスルモ議員ハ出席セス故ニ村費徵收上ニ困難ヲ生シ支払遲延ヲ來スヨリ終ニ土方等ヨ

リ前述ノ如キ劇烈ナル談判ヲ受クルニ至リタルモノニシテ実ニ村長等ハ困難ナシ居ルヨシ風評セリ而シテ助役木村作次郎八十數日前ヨリ病氣ト稱シ出勤セス唯タ村長一人ニシテ四分五裂ノ中ニ立テ役場ヘ出勤ナシ居ルヨリ種々一事ヨリ攻撃ヲ受ケ〔東モ西モ南北ヘモ行ントスルモ往來止ノ為メ步行スル能ハサル如キ〕其困難ナル〔「域」カ〕ニアリ〕恰モドロ水ニ酔ヒタル鯉ノ如ク<sub>(三)</sub>当<sub>(三)</sub>方<sub>(三)</sub>ニ迷ヒ居ルト風評セリ故ニ目下ハ役場アリト雖モナキカ如ク自治体ノ〔〇〕諸機關ハ運轉ヲ止息シタルノ感アルヲ免レス云々ト風評ス

右報告候也

明治廿三年九月十二日

川崎分署長

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

【69】  
秘川第九号

臨時通報

一大師河原村自治体ハ崩壊セントス

一村長ノ辞表

村長石渡忠右衛門ハ紛擾ノ中ニ立テ是迄出勤ナシ来リタルニ本月十五日ニ辞表ヲ差出シ病氣ナリト唱ヘ引籠居ルヨシ

一役場ハ諸費支払ヲ停止ス

前頭ノ如ク村長ハ病氣ト唱ヘ辞表ヲ呈シ出勤セス役場ハ空家トナリタルノ如ク昨日トカ学校修繕ノ手間代金三円ノ請求ヲ大工職某ヨリ申出タルモ払渡サス亦洪水ノ際使用シタル人足賃或ハ炊出シヨナシタル時買上タル米価ヨモ払ハス其儘ニナシアルヨリ人足亦ハ米屋ヨリ請求ノ為メ役場ヘ行タルモ払渡サ、ルヨリ皆ナ悪口ヲナシ引取リタルヨシ

一全村ノ紛議ハ益ス劇烈ナラントス

大師河原村字下河原耕地二町三反五畝歩ノ一村共有地アリ此共有地ヲ旧村長内田作五右衛門等二三名ノ專断ヲ以テ明治十九年中ニ代金千百六十五円ニテ左記ノ者ヘ売渡シタリト云フ

石渡 忠右衛門

全 定右衛門

全 嘉七

全 嘉右衛門

全 七左衛門

全 政次郎

全 与惣右衛門

榎本 六兵衛

中山 新太郎

高橋 弥右衛門

金子 駒五郎

中山 佐太郎

右ノ者共ヲ買主ニシテ今日ニ至ルマテ耕作ナシ来リタルニ先頃ヨリ該売却(ハノ)ハ不当ナリトテ新村長覚ハ(之ヲ)攻撃ヲナシ始メタルヨリ(一)紛議ノ一トナリ居リタルニ今回ノ暴風雨ノ為メ堤防破壊シ一村困難ノ域ニ沈ミタルモ他ニ之ヲ救済スルノ方策ナキヨリ再度此ノ紛議ノ劇烈ヲ加ヘタリ而シテ売却ノ不都合ヲ主張スル者ノ理由ハ即チ(□)而シテ該売却事件タル正當ノ方法ヲ以テ売却シタルニアラス一村共有地ヲ売払ハントスルトキハ村会ノ決議ニ拠ラサルヘカラ(ハス)サルニ村会ノ決議ヲ得ス売却ナシタルハ不法ノ所為ニシテ該共有地所有權ハ依然トシテ一村ニアリ況ンヤ今日ニ至ルマテ地券面ハ(依)一村共有地トナリアル以上ハ売買ノ効力ナシ且ツ売却代金モ頗ル廉価ニシテ今日之ヲ売却スルトキハ之ヨリ数等価ニ売却スルコトヲ得ルヲ以テ此ノ際買得者ヨリ取揚ケ之ヲ横濱ノ或商人ヘ売却スルカ亦ハ抵当トシテ金五百円ヲ借用シ一村ノ困難ヲ救済セサルヘカラス云々ト(主唱スル者アルヨリ)目下之レカ為メ村内ハ益ス争擾ヲナスニ至レリ

右報告候也

明治廿三年九月十六日

川崎分署長

警部長 高橋仲次殿

警部 梶田定吉

【70】

秘川乙第九二号

定期通報

一大師河原村役場吏員及其他ノ件

一本日午后八時頃ヨリ村会ヲ開キ前村長石渡忠右衛門ノ後任者選

挙投票ナシタルニ石渡七左衛門ガ当選セシモ本人ハ之ヲ諾スル

ヤ否ヤ不明ナリト云フ

一或村會議員ハ七左衛門ヲ村長トナシ全人ノ分家ナル石渡信太郎

ト倉形治郎左衛門ノ長男惣吉ヲ書記ニ挙ゲ是迄書記ナリシ杉崎

正信等ノ勢力ト跋扈ヲ減制スル見込ナルヨシ蓋シ杉崎正信ハ役

場中ニテハ事務老練ナルヨリ大概ノ事全人ノ指揮ニ出テ他ノ吏

員ハ之ノ指揮ヲ奉スルカ如キ体裁ナルヨシ

一是迄書記杉崎正信及中田寺田二名ノ書記モ表面上月俸六円ナリ

シガ内実杉崎ハ十二円外二名ハ八円ツ、渡来リタルニ今回ノ改

革ト全時ニ表面通ノ月俸ヲ給シ他ニ一錢タリトモ給セサルコト

ニ決定セリト云フ斯ノ如キ模様ナルヲ以テ杉崎ハ他ヘ転スルノ

計画ヲナセリト風評ス

一田島村々長青木豊十郎ハ中山郡長ノ依頼ヲ受ケ大師河原村々内

紛議和解ノ事ニ奔走ナシ居ルヨシ

一県會議員添田知義ノ挙動

全人ハ一旦固辞シタルモ村内ノ強請ニヨリ再度村長ニナルコトヲ

承諾シ目下夫々手順中ニシテ未タ県知事ノ認可ナキニ付表面ハ村

長タラサルモ内面ハ役場ヘ出勤シ役場ノ事務ヲ助ケ居レリ

一御幸村々長ノ件

本村ハ是迄村長(カ定□□□)ニ当選シタル者ハ皆ナ(辞シ)相

當ノ口実ヲ以テ辞シタルニ付不確定ニシテ能ク村長ニ適任者ナキ

ヨリ困難ナシ居リタルモ遂ニ今回齊藤牛之進カ村長ニ当選シ之ニ

確定シタルモ就任以来未ダ一回モ役場ヘ出勤セス助役弥島幸吉等



二一切委ネ村長ノ職務ヲ執ラス恰モ無關係ノ体裁ナルヨリ或一部分ノ人民ハ之ノ不徳義ナル〔□□〕ヲ鳴シ居〔レ〕ルト云フ蓋シ全人ハ吝嗇家ノ風聞ア〔ルヨシニ付〕リテ先般ノ洪水ノ際自家ヨリ土俵等ヲ出シ堤防破壊ノ場所ヲ修理スヘキハ村内一般ノ風習ナルニ之ヲナス全人ヨリ身代ノ低キ者ガ〔之ヲ〕土俵ヲ出シ奔走ナスニ之ヲ顧ミテ知ラサル者ノ如キハ徳義心ノナキ奴輩ナリ云々ト誹謗ナシ居ル者アリト云フ

右報告候也

明治廿三年九月廿二日

川崎分署長  
警部 梶田定吉

【71】  
秘川乙第九三号

政談演説会監臨景況上申

岡山県岡山市弓之町四拾五番地平民

会主兼弁士 富橋 恒吉

四十一歳

全県全市西中山山下町二百十六番地平民

弁士 出射五三郎

廿二歳

右之者明治廿三年九月廿七日午后七時ヨリ当川崎町堀ノ内小川松五郎借家ニ於テ政談演説会開会届出ニヨリ制規ニヨリ之ヲ受領シ当日臨監候所聴衆廿五名ニシテ弁士ノ演〔台〕壇ニ上リタルハ午後八時卅分閉会ハ〔午後〕全十時卅分ナリ而シテ弁士ノ拙劣ナルト徒ラニ漢語ヲ用ユル為メニ演趣意ヲ聴衆ニ了解セシムル能ハス且ツ廿五名ノ聴衆ハ車夫或ハ職工ノ如キ目ニ一丁字ナキ労働社会ノ者ヲ以テ十中八九ヲ滿タシ居リタル故〔ヲ以テ〕弁士ハ節度ヲ失ヒタル大声ヲ発シ聴衆ハ欠伸スルノミ何シタル感動ヲ与ヘタルコトナク無事閉会候条

明治廿三年九月卅日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

邪正論

弁士 出射五三郎

予ハ嘗テ聴衆諸君ニ披露セシ如ク岡山県ノ僻村ニ生レシ一寒生ナリ予カ産地岡山県ト異リ当地ノ如キハ諸事大ニ進歩シ大ニ予ノ心ヲ驚カシメタリ然レトモ其進歩悉ク之レヲ可トスル能ハズ諸君ヨ若シモ我國ニ仏法ノ大ニ進歩スルコトアルトキハ我國人ハ悉ク坊主トナルカ如キ結果ヲ見ルニ至ル今日ニ於テ有形無形ノ事物ニ付キ進歩ハ最も必要ナリト雖トモ然レトモ進歩其分限ヲ超ユルトキハ却テ社会ヲ害スルコトアリ予ハ言フ当地方ノ進歩ハ其進歩ノ実ヲ誤リ其分限ヲ超ヘタルモノ多シ故ニ其惡結果ヲ見ルモノ其數尠ナカラズ諸君ヨ人ハ遼巡卑怯ナルヲ忌ミ活潑ナルヲ貴ム然レトモ之レ亦分限ナカルヘカラス今弁士ガ仮リニ警察署長亦ハ警部巡查諸君ヲ惡ク言ヘハ聴衆諸君ハ弁士活潑ヒヤ、杯ト喝采セラル、ナラン斯ル所為ハ決シテ活潑トスル能ハズ予等ノ大ニ不可トスル処ナリ一婦人アリ其性活潑ニシテ能ク男子ヲ凌ゲ然レトモ此婦人ハ活潑ノ分限ヲ知ラス活潑ノ度ヲ失ヒ裸体トナリテ飛ヒ廻レリ如斯ナルトキハ活潑モ變シテ「オテンバ」ノ冷評ヲ蒙ルニ至ル予亦活潑ノ分限ヲ超ヘ今此演壇ニ於キ警察官等ヲ誹ラハ心アル者ハ之レヲ聽テ決シテ愉快ヲ感セザルベシ実ニ分限ハ事々物々ニ就テ欠クヘカラサルモノナリ諸君ヨ今ハ総テノ事進歩ヲ要スルノ時ナリト雖トモ宜シク戒メテ其分限ヲ超エサルニ注意セヨ

諸君ヨ予ハ尚諸君ニ其不可ヲ責メサルヘカラサルモノアリ曰ク諸君ニ依頼心多キ之レナリ吾人々民ガ直接ノ利害ニ関スル彼衆議院議員撰挙オモ他人ニ依頼シタルモノアリ農民ハ常ニ農耕ノ繁多ナルヨリ今日ハ田植ダ忙シイハ隣リノ八兵衛ナラ訳カンベーカラ彼レノ処ヘ印形ヲ以テ行テ頼ンテ居ケ大抵夫レドヨカンベー杯ト今度ア県會議員ノ撰挙ダソウダ隣リノ太郎兵衛ノ息子殿ハエラク学校デ勉強シタダカラドエライ人ニ成ツテンベー彼レヲ議員サンニシテオケバ己ラア近所ダカラウメイ事ガアンベージャネーカソースリアー己ラア村

ノ為メニモナンベシ杯トツマラヌ依頼心ヲ起シ此者ヲ撰挙スルニ至ル太郎兵衛ノ息子僥倖ニモ県會議員ヲ當撰セリ息子殿漸ク増長シイヤ此処ノ宴會彼処ノ懇親會ト生レテヨリ見タコトモナキ嬋妍タル歌女等ニ心奪ハレ果テハ大ノ放蕩家トナリ矇昧ノコトモ多クナスモ元トエレイモンダト感シ込ンダ村民ハ何ンテモ彼デモ其者ノ為スコトハ是非ニ抱ラス賞揚スルヨリ弥息子殿「オテンク(脱)トナリ土木工事宜シク県會ノ決議ヲ經己レノ懐ロノ暖カトナル工夫而已巡ラシ不正ノ所業ヲナシ弥村民ノ膏血ヲ吸ヒ取ラントスル等遂ニ村民ハ恢復スヘカラスルノ不幸ヲ見ルニ至ルレ依頼心多キヨ(「リ」脱)生スル惡結果ナリ宜シク注意セスンバアルヘカラス亦時トシテ斯ル県會議員杯ニオベツカヲ為ス者出デ来リ先生ハ御宅デ御坐ルカ少々同度ウ御坐ル杯ト出掛ル先生能ク御坐ツタ此方ヘ上ガラツシャレト先ツ此オベカ野郎ニ御馳走ヲ与フル此者等鼻下ノ霑ウヨリ増々彼不正議員ヲ賞揚スルニ至リ増々彼レヲシテ我意ヲ逞ウセシメ大ニ村民ヲ困メル等ノコトアリ諸君深ク責メスンハアルベカラズ斯クノ如キ依頼心多キ者勦カラスシテ租税ガ高カロウカ政府良カロウガ何カ悪カロウカ一切ノコトハ一切ノ事ハ御上ニ任セテ置ケ村會杯開キ己ラアヤル日ニヤツマラヌ入費カ掛ル夫レヨリ人ニヤラセテ置ケト捨置クハ大ナル心得違ヒト言ハサルヲ得ズ昔シ徳川時代ノ如ク專〔□〕制政府ノ頃ニ在ツテハイザ知ラズ今ヤ立憲政体ノ下ニ棲息スル國民ニ於テ斯ル者アラハ実ニ國民ノ義務ヲ尽サル罪人ト言ベキナリ斯ノ如キモノ多キトキハ立憲政体モ何ノ功用モナサマルヘケレバ予ハ諸君ニ乞フ予今ヨリ諸君ハ奮進シテ予等ガ最モ不可ヲ唱フル彼ノ非職條例之如キモ俱ニ与ニ力ヲオ尽シテ廃セラレンコトヲ希望ス予ハ此ニ非職條例〔□〕要スル処ノ金額ヲ調ベシニ実ニ莫大ナルモノナリ

明治十九年ノ調ヘニ於テ非職官吏ニ与ヘタル金ハ実ニ十万三千四百十六円余ナリ

亦諸官省ニ於テ不必要ノ官吏ヲ雇ヒ置之レニ俸給ヲ与フル數ヲ調フルニ廿二年ニ於テ二千八百三十人アリ之ニ給スルノ金額ハ三万五千

○三十二円ナリ一人ニ付十二円八十錢トナル斯ノ如ク無益ノ官吏ヲ多ク雇ヒ置キ多クノ金ヲ徒ラニ与フルヨリモ寧ロ吾々ガ直接ノ保護ヲ受ル六七円位ノ警等巡查ヲ雇フヨリ増シナラン而シテ亦今日ノ有様ニ在ツテハ多クノ俸給ヲ与フルモノヨリ五円六円取ル者ハ却テ其勞多ク雨ニ曝サレ風ニ打タレ嚴寒暑熱ノ時ニ於テモ尚勤メニアリ斯ク多ク勤クモノハ即ハチ吾々ニ多クノ為メトナルモノナリ諸君共力シテ大ニ改ムルノ覚悟アルベシ

疾病ヲ愈スルニハ医薬ニアリ

弁士 富橋常吉

諸君ヨ病ヒナルモノハ我々人間ハ勿論宇宙森羅万象病ヒナキモ(「ノ」脱)ハナシ彼鉅植動悉ク疾ヒアリ猶天候スラ疾ヒアリ然ラハ凡ソ天地間ニ疾ヒナキモノハナシ只其病シ苦ミアルト否ラサルニ區別サル而已天候ノ疾ニハ風雨震雷アリ亦國ニモ疾ヒアルアリ此國ノ疾病ヲ治スルコト最モ難シ政治ノ不善ナル之レ其國ノ疾ヒナリ國民ノ政府ニ對シ不穩ノ挙動ヲナス之レ疾ヒナリ彼ノ仏國ノ革命露西亞ノ虚無党皆之レ國ノ疾ヒト言フベキナリ

諸君ヨ今我日本國ニモ一ノ重病アリ其病症ハ逆上病ナリ此病ニ罹ルトキハ腰ヨリ上ハ甚敷熱シ暖カク腰ヨリ下部ハ極メテ冷ヘ(拍手)手足ノ如キハ既ニ冷ヘ凍ヘシ計リナリ要スルニ全身ノ生血全ク其巡還ヲ止メタルガ故遂ニ此病ヲ発シタルナラン

諸君逆上病ナルモノハ腰ノ下部ノ生血ヲ漸ク上ヘ絞リ上ゲ上ハ増熱シ暖カク為メニ頭ハ漲張シテ漸ク大トナリ大ナル帽子ヲ冠ラサルヘカラサルニ至ル斯クナルトキハ地震等アル毎ニ振り落サル、コト往々之レアリ而シテ逆上彌強キトキハ終ニ盲目トナル諸君上之之盲目トナルトキハ下ノ困難奈可計リナルカ俚諺ニ盲ラノ踏袂キ若シ之レヲ為ラレタルトキハ下ハ定メテ痛ムナルヘシ(拍手)

亦生血ノ巡還惡シキトキハ繼擧病諸君ノ謂ユル仙氣病ヲ発ス此病ヒニ罹ルトキハ腰カ痛ム横腹カ痛ム葶丸カ大キクナル苦シキコトハ言ハン計リモナシ夫レヨリ腹トナリ虫ガ騒ク吐ス瀉ス実ニ始末ニナラサル病症ナリ何ンニモ致セ腰ヨリ下冷ヘ渡リ苦ミ悶ヘ息モ絶ヘ絶

ヘナル有様ナリ諸君ヨ此ノ難症ヲ治スルノ責メニアルモノハ誰ナルカ亦奈何ニシテ之レヲ治スルヤ諸君宜シク推考スル処アレ

予ハ此レヨリ此病ヲ愈スル医法ヲ述ベン我國文化開クルノ前ニ於テハ漢法大ニ行ハレタリ漢法ノ病ヲ治スルニハ先ツ動脈ヲ探リ病ヒノ奈何ヲ知り而シテ藥ヲ用ヒタルモノナリ然レトモ藥ニハ毒ナルモノアリ故ニ藥ノ為メ却テ身体ヲ害スルコトアリ亦毒藥却テ良藥トナリ疾病ヲ治スルコトアリ彼毒藥ナル「モルヒネ」モ其用度（「途」）宜シキヲ得バ病ヒオ治スルノ良藥トナル蓋シ一ゲレインヲ服スルト

キハ人命ヲ損ス亦麝香人參ノ良藥モ用法宜シキヲ得サレハ人体ヲ害スル毒藥トナル而シ此頃ニ於テ醫術モ亦完カラサリシ今ハ漢法大ニ廢レテ西洋法ヲ行フニ至レリ彼ノ米獨等ノ國ニハ醫師數最モ多ク從テ醫學醫術モ大ニ進ミ居レリ故ニ病ヲ視ルト藥ヲ用ユルニ漢法ト大ニ異ル所アリ亦其功驗ニ於テモ遠ク漢法ノ及ハサル処ナリ西洋法ノ病ヲ治スルヤ理學以テ病症ノ如何ヲ視察シ化學以テ藥ヲ用ヒ醫術以テ之ヲ治ス斯ク理化医三ツノモノ合シテ病ヒヲ治スルナレバ其功著大ナルハ素ヨリナリ然ラハ諸君諸君モ宜シク理化医三ツノモノオ

応用シ彼ノ難病ナル逆上病ヲ治センコトヲ勉メテ忘ル、ナカレ諸君ヨ日本ニハ今一ツノ難病アリ即チ國頭ニ癭癘ヲ生ゼリ之レ治外法權ト名クル瘤ナリ諸君此瘤ヲ治スルニハ如何ナル方法ヲ以テ為スヤ昨年大隈伯ハ突然此瘤ヲ切り取ラントセラレタリ然レトモ此瘤ノ何レニ起因スルヤヲ視察セズシテ矢庭ニ之ヲ切ラントセシ故切リ能ハズ頭ノ瘤ヲ切ラントシテ却テ自らノ足ヲ切ラレタリ予ハ此病ヲ治スルニ当リ先ツ理學以テ其原因ヲ究メン此瘤タルヤ元ト内部ヨリ生シタルモノニアラスシテ嘉永六年ノ昔シ僅カニ外部ヨリ衝カレタルヨリ初メテ此レヲ生シ夫レヨリ内部ノ種々ノ情実ニヨリ漸ク大トナリ今明治廿三年ニ至ルモ猶愈エザル実ニ永々シキ一大難病ナリ此レヨリ化學以テ藥ヲ投シ全身生血ノ巡還ヲ完カラシメ下々マテ生血ヲ巡ラシ暖メカラヲ充分ニシ元氣ヲ養ヒ然ル后チ醫術以テ之レヲ切り取ルベシ我國ノ政治家否藝術家ヨ宜シク考究シテ之レヲ治愈セシメラレンコトオ希望ニ堪エズ亦日本ニハ一寸恋レヲ為ス病ヒアリ斯ノ

如ク有形無形ニ付テ種々ノ病ヒアリ実ニ日本ハ病ヒノ問屋ナリ此ノ數多キ病ヒオ治スルニハ獨リ藝術家而已ノ力ヲ能ク為ス所ニアラサルハ志シ有ル者ハ俱ニ与ニ之レヲ勉メラレンコトヲ乞フ幸ヒナル哉今明治廿三年ハ國會ノ開院アリ依テ三百有余ノ医家否議員ヲ得ルナレバ此多クノ病ヒノ治愈シ全快ニ至ルモ近キニアルベシ然レトモ此多クノ医家ノ内ニハ山師医者暖味連モ多キコトナレバ到底此等ノ者而已ニハ委ネ置ク能ハサルナリ

#### 外交論

弁士 富橋恒吉

予ハ今回此地ニ政談演説會ヲ開會セリ政治ニ熱心ナル当地人士ハ幸ニ予ト共ニ時事ヲ嘆スルナラン思キヤ計ラザリキ決シテ斯ル愛國者ナシ此レ此ノ演説會ニ聽衆ノ少ナキヲ見テ証スルニ足ル彼ノ有名ナルデモスセンズモンデスキューハ演説ハ人間社會ヲ救スル良藥ナリト言ヘリ実ニ予ハ川崎町ニ有志家ノ乏シキヲ憂フ予ハ國家ノ為メニ十二年間天下ヲ漫遊シ七軒ノ家ノ財産ヲ破リ今尚浪々ノ身ナリ今ハ一錢ノ蓄ヘトテモナシ然ルニ明日ハ此席料トシテ六円廿錢ヲ払フ之レ皆予ノ持チ出シナリ仙氣病ノ為メ苦ミナガラ此演壇ニ突立テ腹ヲ減ラシテ「オシヤベリ」オスル損ヲスル誠ニ御苦勞ナル話シナリ予カ何ヲ苦シンデカ之レヲ為ス國ヲ愛スルノ情深キカ故ナリ此後ニ於テ今一度演説ヲ開會セントス有志ノ諸君幸ニ友ヲ誘ヒ来ラレンコトヲ希望ス

諸君ヨ人間ハ食ヒ飲ム「タレ」死ニスル計リガ人間ノ義務ニハアラズ然ルニ当地人民ノ如キハ政府ガ奈何ナルコトヲ成シ居ルヤラ何ンナ事ガ我國ニ起リ居ルヤラ何カ何ヤラ更ニ無頓着ニシテ空ニ食ツテ空ニ死スヤツガ多イハ実ニ嘆スヘク慙ムヘキノ至リナリ諸君ヨ今ハ條約改正論囂々トシテ起リ我レハ之レヲ決行セントシ彼レハ之レヲ拒ミ相互ノ争ヒ今ヤ火花ヲ散ラサントス予ハ彼赤髯奴輩ガ今回ノ條約改正ニ反對スルノ理由アルヲ知ラズ條約ナルモノハ相互ノ間ニ交際ヲ開キ慙懣ヲ通シ与ニ与ニ相救フヲ目的トス亦我國ノ條約ハ我レヨリ求メタルモノニアラスシテ彼レヨリ

乞ヒタルモノナリ嘉永六年米國ノ水師提督ベルリ初メテ我國ニ來リ  
條約ヲ締結センコトヲ請ヒ後安政六年止ムヲ得サル情実アルアツテ  
之レヲ締結シタリ其後各國皆之レヲ倣ヒタリ

渠等ハ言フ日本ハ野蠻國ナリ我々ガ條約ヲ結ビ交通ヲ開キタルヨリ  
今稍其文化進ミタルモノナリ実ニ我々ハ日本國ノ恩人ナリ斯ル未開  
國トハ對等ノ條約結フ能ハズ此未開國ナル日本ノ法律ニハ從フ能ハ  
ズト然リ交通以來或ハ電信ニ或ハ汽車ニ大ニ便利ヲ現ハシタリト雖  
トモ然レトモ我國ハ建國以來斯ルモノナキモ猶足りテ不便ヲ感セサ  
リシ吾々ハ電信モ汽車モ西洋酒モパンモ敢テ必要トセサルナリ然ル  
ニ渠レハ此レヲ我國ニ對スル恩トナシ飽迄己レノ利ヲ貧リ我レニ不  
利ヲ与ヘントス実ニ憎ムヘキモ尚余リアル赤髻奴ナリ

或ル者ハ言フ暫ク〔彼レニ〕我レニ不利ヲ忍ヒテ彼レニ一步ヲ讓レ然  
ラサレハ必ス軍以テ我レニ當ルヘシ彼レハ富國ナリ彼レハ強兵ナリ彼  
レニハ多クノ軍艦モ備ハレリ我レ戰フモ到底不利ナリ然ルトキハ國ヲ  
シテ増々危地ニ陥マシメ亦復スヘカラサルニ至ルト何ゾ彼レカ富國  
彼レカ強兵彼レカ多クノ軍艦恐ル、ニ足ランヤ我レハ正法ナル強兵以  
テ彼レニ征□勝ツベシ彼レ不法ノ軍スルトキハ万国公法ハ決シテ之レ  
ヲ許サズ真ノ條理ハ必ス彼レヲ責ムヘシ假令ハ一力士アリ力ヲ飽迄  
強シ一日金ヲ借ラントシ或者ニ乞ヒタリ或者之レヲ肯ゼズ力士大ニ  
怒リ己レノ力ヲ強キヲ恃ミ或者ヲ毆打死ニ致ラシメタリ法ト理ハ如  
何ニ之レヲ処分スルヤ決シテ其罪ヲ免サマルベシ此レト均シク不法  
ノ軍ハ社界ノ正法社界ノ條理ハ免ス処ニアラス焉ソ恐ル、ニ足ラ  
ン

赤髻奴ヨ爾シ若シ對等條約拒メバ拒メ亦軍以テ責マラハ責マレ我レ  
ハ決シテ之レヲ怖ル、モノニアラズ軍以テ來ラハ正理以テ戰ハン改  
正條約忌メハ忌メ我レモ亦忌ムベシ既ニ締結シアル條約モ悉ク廢ス  
ベシ赤髻奴ヨ爾シ速ニ此國ヲ去レ早ク爾ガ國ニ帰レ  
此一大問題ニ就テ我杜士輩ハ彼レ改正條約ヲ拒ミタルヲ大ニ憤ホリ  
激敷運動ヲナスノ風説アレトモ予ハ決シテ騒クニ足ラストス真理ヨ  
リ出テタル言論以テ渠等ヲ容易ニ服從セシムヘシ

諸君ヨ諸君モ彼レ赤髻輩ニ怖ル、コトナク真理ヨリ造リ出サル、最  
モ力ヲ強キ輿論ヲ以テ彼レヲ從ヘ彼レト對等ノ條約ヲ締結センコト  
ヲ勉マラレンコトヲ切望ス

弁士 富橋常吉

予ハ今回当地ニ於テ過日來ヨリ非政談演說会ヲ開會セリ如何ナル所  
以ニ夜毎ニ実ニ聽衆ナシ予カ愚眼ヲ以テ之レヲ視ルトキハ要スル  
ニ弁士ノ不弁ト当地人士ノ宗教ニ不熱心ナルト社会ノ事物ニ意ヲ注  
カザルトニアルヘシ諸君ヨ今ハ何レノ時ナルヤ今ハ明治二十三年日  
本帝國立憲政体ヲ建テントスルノ時ニハアラズヤ今ヤ吾人ハ立憲政  
度ノ下ニ棲息セントスルモノニハアラズヤ然ルニ諸君ハ尚安閑然ト  
シテ実ニ政治上ニ意ヲ注カザルハ何事ゾ吾人々民ニ安寧幸福ヲ与フ  
ル立憲政体ヲ得ルニハ種々ノ辛酸ヲ嘗メ或ハ鉄窓ノ下ニ繋カレ或ハ  
配所ノ月ヲ眺メ或ハ刑場ノ露ト消ヘ漸ク專制極惡ノ政府ヲ仆シ聖明  
ナル新政府ヲ得ルニ至リタルニハアラズヤ然リ而シテ吾人ハ今參政  
ノ大權ヲ得ルニ至リタルニ尚之レヲ放棄シツ、アル者ハ何事ゾヤ実  
ニ驚クヘキ愁ムヘキノ至リナリ

諸君ヨ政治ハ如何ナルモノナルヤ政治ハ政府ノ專有物ニアラザルナ  
リ政府ハ吾々ノ代理者ナリ吾々ノ安寧幸福ヲ保護スル為メ種々ノ法  
律規則ヲ設ケ政ヲ行フモノニシテ即ハチ吾々ノ名代ヲ委ネ置クモノ  
ナリ然ラハ人ハ一人トシテ無政ノモノナシ上ハ畏レ多クモ 天皇  
皇后兩陛下ヨリ總理大臣各大臣ハ勿論下等官吏ヨリ津々浦々ノ人民ニ  
至ル迄政治アラザルハナシ然ルニ諸君ハ唯ニ他人ノ者トシ敢テ顧  
サルモノハ其身其國ヲ思ハサルモノナリ今日本四千万人ノ人ハ悉  
ク政治ノ下トニ身ヲ処シ政治ノ下トニ運動ナシツ、アリナガラ其  
政治ノ如何ナルヤモ知ラス更ニ之レニ意ヲ注カズ偶々租稅ノ徵收ア  
ルトキハ何ンダ馬鹿々々シイ己イラノ知ツタコツチヤナシ夫ンナ租  
稅ヲ納ムル者カ杯ト政治ノ実体ヲ知ラザルモ往々之レアリ政府ハ政  
治ヲ行フ為メ費消シタル金ハ之レヲ人民ニ對シ徵收スルハ当然ニ  
シテ人民ハ之レヲ納ムヘキモノモノナリ然レトモ政府ハ政治ヲ行  
フ為メ係ル費金ヲ徵收シ之レニ對スルノ働キヲ為サマレハ其政府ハ

悪政府曖昧政府専制政府ト言ハサルヲ得ス人民ガ納ムル租税ノ金ハ何レヨリ生スルモノナルヤ晨二月ヲ踏シテ出テ夕ニ星ヲ戴テ帰ル農民ハ降雪ノ夜猶寒シトセズ炎熱ノ日猶暑シトセズ鋤ノ重キヲ知ラス粗衣粗食シテ幾多ノ辛苦ヲ嘗メ絞リ出シタル膏血以テ之レヲ納ムル者ナリ之レニ反シ若シモ政府ニ立ツ者ニシテ絹布ニ寒ヲ凌キ尚足ラストシ炬燵ニ暖ヲ取り函嶺ニ暑ヲ避ケ酒池肉林ノ中ニ歌舞宴飲シ出ツルニ馬車アリ入ルニ美女アリ以テ多クノ俸給ヲ得身ノ安楽ヲ貪ル等ノコトアラバ人民ハ之レニ対シ此レヲ拒ミ此レヲ退ケザルヘカラズ亦政府ニシテ政府ノ質ヲ失ヒ政府ノ価値ヲ失フトキハ恰モ無政府ト均シク吾人人民ニ奈何ナル害惡ヲ加フルニ至ル哉モ知ルヘカラズ諸君宜シク警メテ之レヲ未萌ニ防クヲ要ス

昔シ徳川幕府ノ頃ニ在ツテハ武家ナルモノアリシ武士ハ傲慢ニシテ吾々人民ヲ土民匹夫素町人杯ト睥睨シ天下ヲ横行セリ而シテ此等ハ皆先祖ガ鎗先キノ功妙ヨリ多クノ録(「禄」)ヲ食シ唯為スコトモナク徒食ナシ居リタリ何故ニ斯ル者アリタルヤ彼等ハ世乱レ暴徒四方ニ烽起シ良民ヲ苦ムトキニ当リ彈丸而飛ノ中ヲモ怖レズ敵ト戦ヒ敵ノ為メニ死スルヲ名譽トシ大ニ国ニ尽ス所アリ之レ彼等ガ常ニ徒食シテ天下ヲ横行シツ、アリシ報酬ニシテ彼等カ第一ノ義務トスル所ナリ若シ武士ニシテ多クノ録ヲ食シ此義務ヲ尽サ、ルニ於テハ之レヲシテ録盜人ト云フ政府若シ徴収スル所ノ租税ヲ対スル義務ヲ尽サ、レハ此政府ハ盜人政府「ヘコチャカ」政府泥棒政府ト言ハザルヲ得ス

此世界ニ国トシテ国ヲ立ツル者其數三千〇六十ノ多キアリ其内立憲政体ヲ用ヒル国ハ三百五十一ニシテ国会ヲ開ク国ハ六十二ヶ国ナリ何レノ国ニシテモ國ハ愛ト愛トヲ以テ成立ツモノニシテ政府ハ人民ヲ愛シ人民ハ政府ヲ愛シア(「フ」)「アミリー」即ハチ真ノ愛ヲ以テスルトキハ其國無事ナリ之レニ反シ若シモ政府ニ愛ナク國民ヲ虐クル如キコトアラハ其國永ク平穩ナラス亦泥棒政府ノ名ハ免レズ如斯ナルトキハ一國ノ側ラニハ人民ハ塗炭ノ苦ニ沈ミ餓殍道ニ横ハルニ至リ其結果多クノ罪人ヲ出シ独り盛ンナルハ獄屋而已其數ヲ増スモ

ノハ看守押丁ニシ(「テ」脱カ)増々嵩ムモノハ其俸給ノ金高ナリ一國ノ政府ニシテ多クノ罪人ヲ出スハ其政府ノ不良ニシテ過失アルカ故ナリ如斯政府ニシテ政府ニアラサルノ所業ヲ為スニ於テハ吾人ハ之レヲ速ニ退ケ速ニ之レヲ改革セサルヘカラズ之レヲ退ケ之レヲ改革スルハ諸君ノ責メナリ諸君宜シク三寸舌頭言論ヲ以テ之レヲ為ス可シ世界ニハ數多ノ國アリ亦種々ノ政体アリ其中ニ於テ第一ノ良政府第一ノ良國ハユトーピヤ國トス此國ハフアミリーヨリ成立チ道徳ヲ以テ固メラル、ナリ此國ニ於テハ國王モ官吏モ農工商モ僧侶モ丁稚モ小僧モ皆平等ナリ其ノ働キニ於キ其衣食住ニ於キ総テ異ルコトナシ國民寒シトスレハ國王モ亦寒キヲ知り國王悲メハ國民モ亦共ニ悲ム途ニ國王ニ遇フ常人ト異ラス唯鼻頭ニ「ロウ」ノ着ケアルヲ見テ稍國王ナルヲ知ル如クユトーピヤハ官吏ハ勿論猶國王スラ己レ独り快樂ヲ貪ラズ國民ト苦樂ヲ共ニス然ルニ我國ノ官吏ハ之レニ反シ國民ガ如何ニ苦ミツ、アルモ奈何ニ悲ミツ、アルモ國內ニハ見ルニ忍ヒサル慘状ヲ呈シ居ルモ之レヲ顧ミス独り己レノ快樂ヲ貪ボリ或ハ「ダンス」ニ或ハトランプニ或ハ花骨牌ニ戯レ美女ヲ携ヘ美酒美食ニ飽キ悠然四方ニ遨遊ス噫憂フヘク恨ムベキノ至リナリユトーピヤノ國民ハ貧富貴賤ヲ分タツ皆平等ニシテ苦樂オ共ニスルヲ最上ノ快樂トセリ実ニ之レ靈魄的ノ快樂ニシテ真ノ快樂ナリ之レニ反シ我國人ハ外面ノ快樂而已ヲ好ミ或ハ美女ヲ携ヘ演劇ヲ觀或ハ美衣ヲ着シテ美食ヲ喰フヲ最上ノ快樂トシ其性極メテ浮薄ナリ從ツテ真ノ愛ナルモノナシ政府愛ナケレハ國民モ愛ナク政府独り満足シテ國民ノ疾苦ヲ顧ミス実ニ悲ムヘク嘆スヘクモ猶余リアリ

國ハ個々人種ノ集リタルモノオ國ト云フ然ラハ政府ノ独り國ニアラスシテ國民即チ諸君ノ國ナリ人集テ國ヲナシ國成ツテ而シテ後政府アリ國民ノ貧ハ政府ノ貧ナリ國民ノ富ハ政府ノ富ナリ國民之苦ハ政府ノ苦ナリ國民ノ樂ハ政府ノ樂ナリ何ソ政府独り富ミ独り樂ムノ所以ヤアル

國民ハ政府カ政治ヲ行フニ付テ費消シタル金ハ勉メテ之レヲ納メ政府ハ之レニ対スルノ義務ヲ充分ニ尽シ相提携シテ俱ニ共ニ快樂

ヲ得ルヲ謀レ然ルトキハ道德自ら盛ンニ彼ユトービヤ國ノノ如ク最良ノ國トハナルハ近キニアルベシ

### 正法論

弁士 富橋恒吉

法トハ如何ナルモノヲ言フヤ亦何レニ起因スルヤ予ノ愚能ク之レヲ知ルルニアラス然レトモ名碩儒ノ説ヲ聞クニ法ハ社会ニアリトアラユルモノハ悉ク之レアリテ我々が用ユル器具亦家等ハ勿論我々ノ手足ニ至ル迄皆法ヨリ成立ツモノナリ凡ソ宇宙間森羅万象法ナキモノナシ我々ノ身体モ其造り出サル、前即チ無形ノ間ニ於テ言ヘカラザル一ノ法ヨリ此現象ヲ造り出シタルモノナリ如斯猫ニアレ犬ニアレ悉ク法アリテ若シ之レナクンバ即チ無法ナリ然リ而シテ之レニ律ヲ加ヘ法律トナス律ハ政度ナリ法律ノ目的タルヤ人ニ勸善懲惡ヲ知ラシムルモノナリ故ニ諸君ハ法律ニ從ハザルベカラザルナリ

法律ハ最も必要ナルモノニシテ吾々ハ瞬時モ欠クヘカラサルモノナリ法ト律合シテ吾々ノ必要物トナル而シテ法ト律合シテ此必要物トナスニ至リタルハ何故ナルカ即チ道德ノ力ヲ薄キニ至リタル故法律ヲ必要トスルニ至リタルナリ道德盛ナルトキニ於テハ法律何ソ必要トスベキヤ法律ノ力ヲ強ク其功用大トナルトキハ亦大ニ社会ヲ害スルコトアリ法律ノ力ヲ強キニ趣クニ從ヒ道德ノ力ヲ漸ク薄弱ニ至ルハ自然ノ理ニシテ防クヘカラスト雖トモ諸君ハ勉メテ道德ヲ盛ンナラシメ法律ヲシテ其力ヲ強カラシメザルヲ致セ今我日本ニモ多クノ法律規則ヲ設ケタリ此レ其必要トスル所アルカ故ナリ政府ハ人民ノ安寧人民ノ權利ヲ保護センガ為メ之レヲ設ケタルモノニシテ我々ノ自由ヲ压制センカ為メ之レヲ設ケタルニアラサルコトハ今予ノ贅言ヲ要セズ然レトモ斯ク多クノ法律ヲ設クルヲ必要トスルニ至リタルハ全ク道德ノ力ヲ薄弱トナリタルカ故ナリ実ニ嘆ハシキ至リナリ今我國ニハ刑法治罪法憲法民法商法訴訟法ノ六法ヲ初メトシ或ハ新聞條例ニ或ハ集会條例ニ亦ハ保安條例等種々難多ノ法律アリテ到底吾々ハ一代掛リテモ読ミ切レヌ程ナリ斯ル有様ナレバ何レニ如何ナル法律ノアルアリヤ識ラス識ラサルノ間ニ凶ラズモ法律ニ触レ刑セ

ラルニ至ル誠ニ不都合ナル次第ナリ諸君ヨ諸君ハ勉メテ道德ヲ盛ンナラシメ人ハ互ニ人ヲ救ヒ互ニ人ヲ害セズ(「サルニ於テハ」此不都合ナル法律(「モ」)オシテ不必要物(「ナルヘケレバ」)トナラシムベシ法律ト道德トヨ區別スルトキハ法律ハ己レヲ益スルモノ人ヲ害サズ道德ハ己レヲ損スルモノ人ヲ助クベシト諸君此二ノ者何レカ良シトス或者ハ大ナル災厄ニ罹リ其身ヲ苦メ亦或者ハ危險ニ類シ其身危シ此時此等ノ者ニ對シ其生命ト財産ヲ惜マス之レヲ救フハ即チ道德ナリ之レニ反シ法律ハ親子兄弟間モ尚互ニ私利ヲ貪リ敢テ他ヲ顧ミズ己レノ衣食住ニ差間ヘサレハ人ハ奈何ニ苦ムモ意ニ介セズ人ハ己レハ己レトスルハ法律ノ本意トス然レトモ道德ハ之レヲ免サズ予等モ亦大ニ忌ム所ナリ諸君以テ如何トス人ノ難ヲ救ヒタルハ実ニ快キモノナリ亦救ハレタレルハ真ニ嬉シキモノナリ之レ實ニ無上ノ快樂ナリ人ハ法律ニ從フヘキモノニシテ之ニ從フト雖トモ實ハ其表面而已其裏面ニ立入りテハ実ニ驚クヘキモノアリ法律ノ許ス限リハ他人ノ財ヲ貪リ己レノ衣食住ヲ充分ナラ(「セ」)シメントス諸君ヨ衣食住ハ肉体ノ快樂ニシテ真ノ快樂ニアラズ寧ロ諸君ハ無形ノ快樂ヲ致セ靈魄的ノ快樂コソ真ノ快樂ナリ親子兄弟ニ道德ノ力ヲ強ケレハ其家睦シ家睦シケレハ其家榮ヘン而シテ真ノ快樂モ多キニ至ル真ノ快樂ハ靈魄的ノ快樂ナリ諸君ハ為セ真ノ快樂ヲ

頃日条約改正ノコトニ付キ議論囂々タリ今ノ外務大臣ハ奈何ナル処ヨリ此改正案ヲ出サレタルヤ亦々今日ノ如ク彼我相争ヒ互ニ一步ヲ讓ラサルモノハ何故ナルカ此レ外面ノ快樂ヲ貪ラントスルカ故ナリ此頃英國ノ或ル商人ハ一ノ党派ヲ組織シ我日本對等條約ニ反對シ之レヲ拒ミ大ニ其運動ヲ為スト聞ケリ実ニ捨置クヘカラザルモノナリ我國ノ有志者モ言論新聞ニ大ニ之レニ駁撃ヲ加ヘ飽迄我意見ヲ貫徹セシメントコトヲ勉ム然ラハ吾々モ國民ノ一部ナレハ千々ニ心ヲ碎キ渠等ニ對スルノ法ヲ設ケサルヘカラス然レトモ之レヲ為スニ當リ急激ノ運動ヨリ寧ロナツチユルリーゾン即チ自然ノ理ヲ以テ徐(「徐」)々トシテ彼レヲ從ハシムヘシ彼レ如何ナルモノニセヨ自然ノ理ニハ勝ツ能ハサルベシ

渠等ハ我日本ノ法律ヲ不完全ナリトシ我國ヲ野蠻國ト擯斥シ今回ノ對等條約ヲ拒ムト雖トモ吾々カ自然ノ理ヲ以テ之レニ責マラハ之レヲ遂クルニ何ソ難カラン諸君ハ宜シク自然ノ理ヨリ彼レヲ責メ彼レヲ從ハシムルノ方法ヲ設ケラルヘシ

筆者

巡查 土佐熊蔵印

### 【72】 秘川乙第九四号

定期通報

一 横浜青年俱樂部

該俱樂部ニ於テハ廢娼建議ノ為メ県下ノ輿論ヲ造ル目的ヲ以テ各郡ヘ遊説員ヲ派遣シ建白書ヘ調印ヲ得ルコトニ奔走シ居ルヨシ尤モ統々調印ナス者アルヲ以テ不日該建白書ヲ本県知事ヘ呈出スルヨシ風評ス

一 各村耕作物ノ概況

本年ノ多摩川洪水ハ饑饉ニシテ或(ル)村ノ如キハ水害ヲ感セス或(ル)村ハ水害ノ為メ困難ニ陥リタルコト鮮少ナラス当署部内ニ於テ住吉村日吉村ノ如キハ水害ヲ受ケサルヲ以テ本年ハ豊作ナ□テ鼓腹擊壤ノ美觀ヲ呈スルモ御幸村ノ如キ大師河原村ノ如キハ水害ヲ受ケ愁眉ヲ開ク能ハス小作人ノ如キ細民ハ悲哀ニ沈淪セリ然レトモ末タ乞巧ト化スル者アラス漸ク口糊ヲ継キ親類ノ扶助ニヨリ生活ヲ全フセルヲ目撃ス然シ御幸村ニ於テハ田畑ヲ崩壞シ一家生計ノ資本ヲ流失シタルヲ以テ救助願(ハ)ヲナシ(ハ)書ヲ全村役場ヘ差出シタル者アリト云フ(亦田島村ノ如キハ□)

一 貧民ノ狀況

前頭ノ次第二付水害ヲ受ケサル村ハ五穀豐熟ナルモ水害ヲ受ケタル村ハ半年ニ比シ二割半或ハ二割亦ハ七割半ノ収穫ヲ減少セリ目下ノ景況ヲ視ルニ米価ハ日々下落スルヲ以テ人心靜穩ニシテ各其業務ニ從事勉勵シ苟モ富豪家ニ迫リ賑恤ヲ求ムル如キ模様ナシ

一 当署部内人民ノ政治思想如何

當署部内人民ハ政治思想ニハ頗ル冷淡ト云ハサルヲ得ス平素政治上ニ奔走スル(如キ)有志家稀レニシテ(ナルヲ)以テ政談演說アルモ之ヲ傍聴セントスル者少ク(町村ニ)於テ重立タル者(□)ト雖トモ政治上ノ事ハ度外視シ居ルモノノ如シ故ニ政談演說会ノ開会アルモ敢テ傍聴セントスル者ナシ隨テ輕騷過激ノ舉動ヲナス壯士輩ニ欠乏ス然シ動スレハ壯士ノ体面ヲ備ヘ運動セントスル者ハ田中龜之助ノ如キ人物ナリ其他ハ皆ナ著実温厚ノ人物ノミト云フヘシ故ニ目下各地ニ於テ囂々論議ノ焦点トモナリ居ル對等條約論ノ如キモ之ヲ喋々スルモノナキ模様(□□)ニシテ平穩無事ト云フヘシ

一 大師河原村々長ノ件

先般村会ヲ開キ石渡七左衛門ヲ村長ニ挙げタルモ全人ハ就職セサルヲ以テ井上郡吏カ該村役場ヘ出張シ懇篤說論シタルモ就職ヲ諾セサルヨシニ付再度村会本月一日開タルヨシ而シテ村民一部ノ者ノ意見ハ到底村内ヨリ村長ヲ挙クルモ好結果ヲ得ル能ハス官選ニシテ村内ノ誰彼ニ情誼ノ關係ナキ者ヲ以テ村長トスルニアラサレハ其職務ヲ執ルコト能ハサルヨシヲ風評セリ

亦或ル一派ノ村民ハ七左衛門ニ迫リ強テ就職ヲ承諾セシムルコトニ力メ愈ヨ就職拒ム以上ハ止ヲ得サルニ付全村字塩浜ノ(□□)和泉茂八ヲ選舉セントノ計画ヲナセリト云フ

右報告候也

明治廿三年十月二日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

### 【73】 秘川乙第九五号

臨時通報

一 山田泰造懇親会ノ計画

本月五日当川崎町旅店会津屋田中龜之助方へ自由党主義ノ者ガ  
廿三名程集會ナシタルヲ以テ即時内偵セシメ候所山田泰造ノ為  
メ懇親會ヲ開設セントスル協議會ニシテ横浜其他ヨリ山田ヲ選  
挙スルコトニ奔走シタル者カ集會ヘナシタル儀ニテシ種々協  
議ノ末懇親會ノ席ハ横浜公道俱樂部ニ於テ催サントノ事ニ一決  
シ一先右ノ決議ニテ散會ナシタルモ亦々模様替トナリ第二区ヨ  
リ選出(ハス)シタル代議士ノ為メ開會スル懇親會ノ席ヲ横浜市  
内へ持行モ懇當ナラス且ツ市街雜沓ノ地ニ於テ開クヨリハ寧ロ  
閑静ニシテ眺望ノ可ナル高島山ヲ借受ケ席上トナスガ參會スル  
者ノ為メニモ都合宜シキトノ事ニテ(ハ)粗ホ高島山ニ於テ来  
ル十五日午前ヨリ楽隊ヲ聘シ盛大ナル懇親會ヲ開ク為メ(改進)  
党(ハ)派ノ別ヲ論セス苟モ第二区ニ於テ選舉權ヲ有シ居  
ル者ヘ対シ夫々案内状等ヲ發シタルヨシ

右報告候也

明治廿三年十月九日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

【74】

秘川乙第九八号

領收証

一金參円也

右ハ明治廿三年九月中高等警察機密費

右正ニ領收候也

明治廿三年十月十日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿

支出明細書

一金參円也

内訳

一金参円也

右ハ明治廿三年九月中高等警察事務ニ巡查石井亥吉及久下光廣  
ヲ使用シ其費用トシ渡シタル分領收証添付ス  
一金式円也

右ハ本官ニ於テ明治廿三年九月中高等警察事務ニ消費シタル分  
右之通支出相違無之候也

明治廿三年十月十日

川崎分署長

警部 梶田定吉

警部長 高橋仲次殿